

集団的自衛権の行使容認の次は、『教育再生』？

今、子どもたちの教育がねらわれています。

教育委員会制度改悪緊急集会

安倍内閣のもと、「教育再生」の名で教育の自由や自主性を侵害するような『5つの教育改革』が次々と展開。そのひとつ「教育委員会制度」の改悪がもたらすものとはなにか、他の教育改革の狙いは？ とともに学び反対しましょう。

6月1日(日)13:30~15:30
サンビル7階ホール **参加無料**

子どもたちの教育は
どうなるのでしょうか？



問題提起 1

武田晃二 集会共同代表
岩手大学名誉教授

教育委員会の制度改悪の中身と、その狙いとはなにか。安倍内閣の教育再生の狙いを総論的にわかり易く説明します。

問題提起 2

加藤 章 集会共同代表

もと教育委員長も務めた経験から、教育委員会の本来改革すべき方向とは逆にすすもうとしている危険性を訴えます。

各層からの提起

教員や保護者、もと教育長、PTA役員などそれぞれの立場から、教育制度の改悪への心配や、あるべき姿への要望を発言

かつて国が教育を支配統制して、「軍国少年・少女」を育てたことを反省して、政治が教育に介入し支配することができないようにする法律や制度がつけられました。大事な制度の一つが教育委員会です。ところが政府は、いろいろな手を使って教育委員会を文部科学省に従わせるようになり、教育委員会制度の「骨抜き」をすすめてきました。そしていじめ問題などで国民の教育委員会に対する不満や不信が広がっていることもうまく利用して、教育委員会を政府と自治体首長に従わせ、政治が教育を支配できる仕組みに変える法案を今国会で成立させつつあります。

教育委員会制度以外にも教科書検定や、大学教育なども「改革」という名で、数の力で次々と「支配する」教育に変えられようとしています。このままでは教育はどうなるのかを学び、本来あるべき教育に改革していくことこそ要求していきましょう。

主催：教育委員会改悪反対緊急集会実行委員会 盛岡市東松園3-26-14 019-662-1127

実行委員会共同代表：砂金良昭・加藤章・加藤善正・武田晃二・森越康雄

問い合わせ先：岩手県生協連 TEL 019-684-2225・FAX 019-684-2227